

# 吃音の症状



わわわんちゃんだー

くるま  
こ---われちゃった



・・・おそとに  
.....あそびに  
いこう!



おこさんが  
どもっていると  
感じたら

対応方法を変えても様子が変わらない  
吃音が始まってから6か月以上経っている  
どんどん悪くなる  
心配で仕方がない  
などがあれば専門家へ相談しましょう



## 吃音とは

お子さんは、一生懸命お話しをする時、  
なめらかにことばが出てこなかったり、  
ことばのリズムがうまくいかなることがあります。

「**ぼぼぼぼく**」のような繰り返す話し方や、

「**ぼ-----くはね**」と伸ばす話し方、

「**……ぼく!**」

と言葉のはじめがなかなか出てこない話し方  
などがみられます。

これらのことばの状態が**吃音**と呼ばれています。



## 何が原因？

吃音の原因は特定されていません。

親御さんの育て方や園での対応が原因で  
はありません。

ことばが急に発達する2～6歳ごろに、20人  
に1人くらいの割合で起こります。

お子さんによっては、環境の変化や体調など  
によって、悪くなったり良くなったりするなどの  
波があります。

多くのお子さんは、成長とともによくなっていく  
といわれていますが、悪化させずに、良くなっ  
ていくことを促すためにも

**適切な対応をとることが大切です。**



## 対応方法は？

ことばの状態に関わらずおしゃべりが大好きな  
お子さんになってもらうことを目指しましょう。

**つかえてもさえずらずに最後まで聞きましょう**

聞き終わったら「～なのね」と話の内容をくり返してあげ  
ることで、最後まで聞いてもらった満足感と、伝わった  
という安心感もてます。

**ゆっくりお子さんの話を聞く時間をもちましょう**

兄弟姉妹であらそって話したり、焦っている時はつかえ  
やすくなります。ゆっくりと1対1でお話ができる時間  
を作りましょう。

**質問の数を減らしましょう**

お子さんは大人と同じように上手に表現することが難  
しいため、説明を求めるとつかかりやすくなる場合が  
あります。

**話し方のアドバイスはしないようにしましょう**

「ゆっくり」、「深呼吸して」、「落ち着いて」と言っても理  
解することが難しいので、大人がモデルとなるように  
ゆっくり話してあげましょう。

**得意なことを見つけて、  
たくさんほめてあげましょう。  
自信を持って生活できます。**